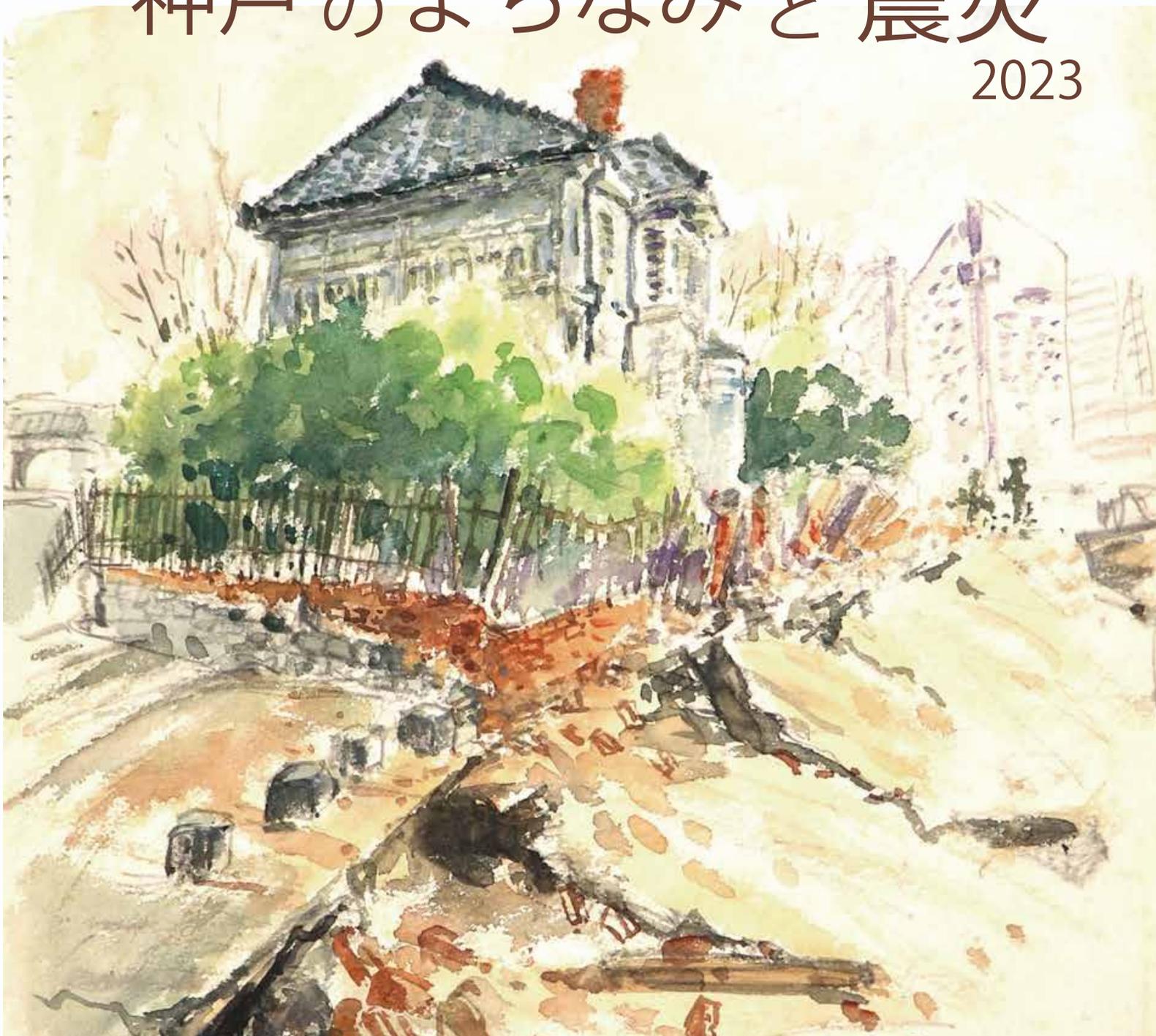


絵画でたどる

神戸のまちなみと震災

2023



2023年 12月9日(土) ~ 2024年 1月11日(木)

絵画でたどる 神戸のまちなみと震災 2023



Painter Profile Takenaka Nobukiyo 竹中 信清 氏

竹中信清氏は、兵庫県明石市で長年活動する洋画家である。竹中氏は愛媛県に生まれ、神戸市西区で鉄工所を創業するかたわら、明石市を中心に活動を続けてきた。

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では発生翌日からボランティアとして被災地に入り、記録として絵を描きながら支援物資を運送した。

阪神・淡路大震災で、神戸市西区の自宅は激しく揺れた。約1時間の停電後、テレビに映ったのは燃える神戸の街。

すぐにボランティアを申し出た。

軽トラックで食糧や薬を避難所に運ぶ合間、筆を動かした。他府県の応援を得ながら、復旧に向けてもがく街に目をこらす。1枚描くのに20分ぐらい。長くて約1時間。何度も「何描いてるんや」と怒られ「それは当然。でも、自分は絵描き。だから絵で残さないといけないと思った」。倒れた高速道路や曲がりくねった線路、がれきの中に置かれた花束などを題材に、地震発生から約1カ月半で80枚を描き上げた。



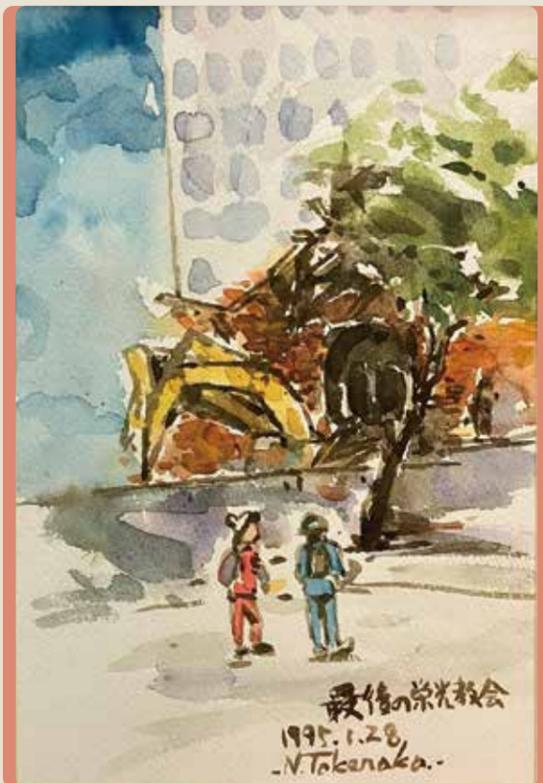
上：『阪神・淡路大震災スケッチ集』
竹中 信清 著
所蔵：ポーアイ館 / 2階震災 / 369.31/TAK/H

Pick Up!



6

最後の栄光教会



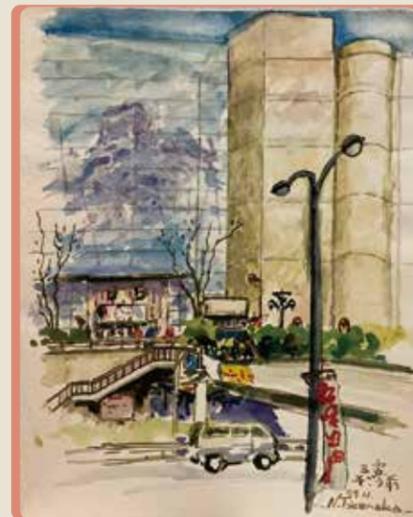
絵画は、『竹中信清 阪神・淡路大震災スケッチ集』（1995年、ジュンク堂）としてまとめられている。

2000年11月、竹中さんの作品は、阪神・淡路大震災の記録と記憶を伝える人と防災未来センター（神戸市中央区脇浜海岸通）に寄贈された。



4

三宮 そごう前



阪神・淡路大震災

DATA

名称	平成7年(1995年) 兵庫県南部地震
発生日時	1995年1月17日(火) 午前5時46分
震源	兵庫県淡路島北部 北緯 34度 36分 東経 135度 02分
震源の深さ	約16キロメートル
規模	マグニチュード7.2 (2001年4月23日 気象庁が7.3と訂正)

8

陥没した兵庫水木通り



展示絵画の描かれた場所



- 1 阪神高速道路
- 2 六甲道周辺
- 3 三宮
- 4 そごう神戸店(現神戸阪急)
- 5 みなと異人館
- 6 神戸栄光教会
- 7 大丸神戸店
- 8 水木通
- 9 三菱銀行(現三菱UFJ銀行)兵庫支店(新開地付近)
- 10 菅原通
- 11 明石城跡

展示企画

現代社会学部 社会防災学科
2年次生 水本ゼミ

Planner's Comment

現代社会学部 社会防災学科の2年次生が、竹中氏の絵画を展示するため、震災前、震災直後、現在の状況を調べ、写真を撮影しました。

竹中氏の絵画をとおして、神戸の震災前や震災直後のまちなみと復興した神戸の様子を見にいてみませんか。



参考文献

- ◆ 神戸新聞
(2022年1月8日朝刊)
- ◆ 竹中信清『阪神・淡路大震災スケッチ集』
ジュンク堂 1995年
- ◆ 人と防災未来センター資料室HP
<https://www.dri.ne.jp/material/room/about/>

人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2



資料提供



開館時間 9:30 ~ 17:30 (入館は 16:30 まで)

休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌平日)
年末年始の 12月31日と 1月1日

ACCESS

- 阪神電鉄 岩屋駅、春日野道駅から徒歩約 10 分
- JR 灘駅 南口から徒歩 12 分
- 阪急電鉄 王子公園駅 西口から徒歩約 20 分



SeaScape

第 31 号 2023 年 12 月発行

発行・編集 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館

〒650-8586 神戸市中央区港島 1 丁目 1 番 3